

（１）新型コロナワクチンの接種について

はじめに、10月19日時点における新型コロナワクチンの接種状況についてご報告いたします。

真岡市の全人口7万9,871人に対しましては、1回目接種が5万8,719人、2回目接種が5万3,560人で、接種率は、1回目73.52パーセント、2回目67.06パーセントとなっております。

また、12歳以上の対象者、7万1,788人に対しましては、1回目81.80パーセント、2回目74.61パーセントとなっております。

現時点において、1回目の接種率が、対象者の8割を超えていることから、11月末までには、国の目標である、対象者の80パーセント以上の方が、2回接種を完了できる見込みとなっております。

次に、全国的に接種率の向上が課題となっている若者のうち、10代の接種率であります。12歳から19歳までの対象者6,213人に対しましては、1回目接種が4,822人、2回目接種が3,434人で、接種率は、1回目77.61パーセント、2回目55.27パーセントとなっております。

この10代の数値については、市内のほかの年齢層との比較においても高い接種率となっており、これまで実施してきた接種案内チラシの個別送付など、接種率向上に向けた取り組みの効果が現れたものと考えております。

今後も引き続き、芳賀郡市医師会にご協力をいただきながら、12歳を迎える児童や、一般の接種を希望される方を対象に、接種体制を継続してまいりますので、未接種の方は、市ホームページの予約サイト、または、各医療機関や市のコールセンターにお問い合わせの上、予約されますようお願いいたします。

（２）若い世代に対する新型コロナウイルス感染症予防啓発事業について

次に、若い世代に対する新型コロナウイルス感染予防 啓発事業についてであります。10月30日、土曜日に、成人式の会場となる市民会館“いちご”ホールのロビーにおいて、「“想う”思いやり」をテーマにした「高校生による折り鶴プロジェクト」を実施いたします。

この企画は、真岡北陵高校3年の市村 和加奈さんの発案によるもので、今年の6月に市が高校生を対象に実施した、若者に対する感染防止対策のアイデア募集に応募したことがきっかけとなり実現いたしました。

展示作品については、市内4校の高校生が思いを込めた約1万7,000羽の折り鶴を、真岡北陵高校、介護福祉科の皆さんが、糸でつないだもので、テーマである「“想う”思いやり」の文字については、真岡女子高校の書道部が書き下ろしたものとなっております。

このプロジェクトを通じて、成人者をはじめ多くの若者に「新型コロナに対する理解」と「感染した方に対する、差別や偏見のない思いやりの心」を啓発できればと考えております。

当日、一般の方は入場できませんが、会場の様子は、市ホームページをはじめ、各種SNSで発信してまいりますので、成人者以外の方も、ぜひ、ご覧いただきたいと思っております。

### （3）令和4年成人式について

次に、令和4年成人式についてであります。令和4年1月9日、日曜日に、市民“いちごホール、大ホールにおいて実施いたします。

式典は、今年と同様に、午前と午後の2部制とし、感染対策を徹底した上で、時間を短縮して実施いたします。対象者には、11月5日に案内状を発送いたしますので、記載の専用フォームから参加をお申し込みください。

また、成人者への「お祝いの品」については、前回の真岡木綿製品に加え、いちご関連商品や地元企業の商品など、9種類から選ぶことができます。

受け取りについては、前回と同様に、郵送での対応となります。式典に参加できない方でも「お祝いの品」を受け取ることができますので、案内状をご確認の上、来年の1月16日までに、市ホームページの専用サイトからお申し込みください。

また、この申込サイトでは、成人者などの若者と、真岡市をつなぐための情報サイト「MOKA FAN」の登録を促進しています。今回、登録された方は、お祝いの品を優先的に選ぶことができ、さらに、登録者の中

から抽選で、井頭観光いちご園の「いちご狩りペアチケット」を5名の方にプレゼントいたします。

今後とも、このサイトを活用しながら、若い世代と情報を共有し、定住促進やシビックプライドの醸成に役立ててまいります。

#### （４）在宅ターミナルケア支援事業について

次に、10月1日から実施しております「在宅ターミナルケア支援事業」についてであります。この事業は、18歳以上40歳未満のがん患者の方が、住み慣れた自宅で自分らしく安心して日常生活が送れるよう、在宅での生活を支援し、患者、およびその家族の負担軽減を目的としております。

助成の対象となるサービスは、介護保険指定事業所等による訪問介護や訪問入浴介護、福祉用具の貸与および購入であります。

助成額は、月額の上限を6万円とし、対象経費の9割、最大で5万4千円となります。今年の4月1日から利用されている方は、さかのぼって申請することができますので、申請をお願いいたします。

#### （５）市内中学校のオンライン国際交流について

次に、市内中学校のオンライン国際交流についてであります。11月19日、金曜日、午後3時から、長沼中学校において、二宮地区の中学校、3校合同による、オーストラリア ハーヴィー市のハーヴィー・シニア・ハイスクールとのオンライン交流を実施いたします。

当日は、3校の代表生徒が、英語で真岡市の特色や学校生活について紹介をするほか、ハーヴィー市に関する質問なども予定しております。

このオンライン交流を通じて、生徒同士が相互理解を深め、両市の友好関係を、さらに強めていくきっかけとなることを期待しております。

また、今後は、二宮地区以外の中学校においても、オンライン等を活用した姉妹校との相互交流を実施してまいります。

#### （６）多言語による進学ガイダンスの開催について

次に、多言語による進学ガイダンスについてであります。本市在住ま

たは市内中学校に通う外国籍の生徒とその保護者を対象に、進学相談を通じた支援を目的として、11月28日、日曜日、午後2時から、二宮コミュニティセンターで開催いたします。

この事業は、宇都宮大学多文化公共圏センターに協力をいただき、本市教育委員会の主催で、初めての開催となります。対応言語は、英語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語のほか、希望に合わせて対応していく予定です。

内容については、高校進学に関する制度やしきみ、受験や入学後にかかる費用などを説明するほか、個別の質問・相談にも対応する予定となっております。

参加を希望される方は、チラシにあるQRコードからのウェブ申し込み、または、各学校を通じてお申込みください。

#### （7）公立保育所の再配置について

次に、施設の老朽化や入所児童の減少などにより、移転・統合することとして再配置を検討しております西田井保育所および物部保育所についてであります。このたび、公立保育所再配置整備検討委員会における検討結果がまとまりましたのでご報告いたします。

統合する保育所の定員については、現状の児童数などを基本として、統合保育所の基本設計策定時に決定するものとし、運営方法については、民間事業者による設置・運営といたします。

移転先については、西田井保育所および物部保育所からの距離が遠くないことや、市中心部からの交通利便性が高く、定員の充足が見込まれること、市が所有・賃借する土地で敷地面積がおおむね3千平方メートル以上であること、などを条件とした上で、交通アクセスや道路の幅員、用地の状況などについて評価し、田町の県東環境森林事務所 跡地とする報告がありました。

今後の予定につきましては、保護者や地元関係者を対象とした説明会を開催し、皆さまからのご意見などを踏まえ、来年3月までに「真岡市公立保育所再配置整備計画」を策定してまいりたいと考えております。

その後、令和4年度以降に運営法人を公募し、関係機関との協議、設計、

建設工事などを経て、開園については、4年から5年後を見込んでおります。

#### （８）廃校利活用事業について

次に、廃校利活用事業についてであります。旧中村東小学校において、利活用を進める株式会社ジェイエルエスジーが、10月1日から校舎内に事務所を開設し、外国人留学生を対象とした「真岡みらい日本語学校」の開校に向けて活動を開始しました。

入学予定者については、現在、ベトナム国籍1名、ネパール国籍1名、ミャンマー国籍2名の計4名が、法務省東京出入国在留管理局より在留資格の認定を受けておりますが、コロナ禍に伴う渡航往来の制限により、入国の時期が未定となっております。

学校の開校時期については、入国が可能となり、授業を開始できる時期に合わせることとなりますので、決定次第、お知らせいたします。

次に、旧東沼小学校および旧中村南小学校につきましても、廃校利活用事業に関心のある事業者を対象に、9月1日から10月31日まで、サウンディング調査を実施しております。今後は、この調査結果を踏まえ、実現する可能性の高い事業内容や公募条件などを検討し、再公募に向けて準備を進めてまいります。

#### （９）地域おこし協力隊の募集について

次に、地域おこし協力隊についてであります。現在の協力隊が来年3月に退任となるため、新たに募集いたします。募集期間は、11月1日から12月31日までで、1月以降にインターンシップや選考審査を行い、4月の着任を予定しております。

募集人数については、人と人をつなぐ「まちづくりコーディネーター」と、真岡の暮らしやすさを発信してもらう「移住のコーディネーター」、それぞれ若干名を予定しております。

新たな地域おこし協力隊には、都市部からの視点を生かしつつ、地域と融和しながら、にぎわいや活力を生み出す熱意のある方に応募していただきたいと考えております。

（10）その他（動画配信事業、FM開局一周年特別番組）

事務局から、その他といたしまして、2点、お知らせいたします。

1点目は、真岡っ子をみんなで育てよう事業として開催する「考えることは楽しい だから科学はおもしろい」の公演についてであります。コロナ禍の状況を踏まえ、10月25日、月曜日から、いちごチャンネルで放送するほか、市公式ユーチューブで配信いたします。子どもから大人まで楽しめる内容となっておりますので、詳しくは、本日発行のウィークリーニュースもおか、または市ホームページなどでご確認ください。

2点目は、FMもおか開局1周年特別番組についてであります。11月15日、月曜日、午後1時から始まり、午後7時まで続けて放送いたします。内容については、リクエスト特集や、地元の皆さんが登場する特別番組のほか、午後6時からホンダリベルタの皆さんを市役所にお迎えしての、公開トークショーを開催いたしますので、ぜひ、お聞きください。また、番組へのメッセージや曲のリクエストなども、お待ちしております。